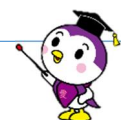


エコロジカル・アプローチに基づく 運動学習・体育授業評価に関する研究



Keyword :

エコロジカル・アプローチ、身体知、身体論



創造科学系
保健体育講座 助教

研究分野： 体育哲学・スポーツ哲学

北川 修平 (KITAGAWA Shuhei)

<https://researchmap.jp/shuheikitagawa>



研究概要

私は体育授業やスポーツにおける運動学習に、エコロジカル・アプローチを応用する研究を行っています。エコロジカル・アプローチとは、人間の活動を人間と環境の相互作用として捉える立場の事を言います。例えば、私たちが椅子に座ることが「できる」のは、私たちが腰をかがめ、膝を曲げることができることに加え、その椅子が体重を支える強度を持っており、椅子の座面が滑り落ちない平面であるためです。このように「できる」を身体能力と環境の相互作用として捉えることによって、新たな学習方法や学習評価の提示が可能になります。

また、体育授業やスポーツにおける運動学習において、私たちはどのような「知」を獲得するのでしょうか？例えば、私たちが新たな身体運動を習得していく際に、「頭ではわかっているのだけれども、できない」や、「とりあえずやってみてきたけれど、なぜできたのかわからない」といったことが往々にして起こります。このようなことは、「できる」と「わかる」が異なることを示しており、特に体育授業においては、「わかる」だけではなく「できる」ようになることが必要です。そのためには、体育授業やスポーツにおける知と、いわゆる教科書や資料集などにおける知の概念を区分することが求められ、私たちの身体が持つ知（身体知）の独自性・特異性を踏まえた体育授業や運動学習によって、新たな身体運動の習得が促進されと考えられます。

アピールポイント

- これらを踏まえ、以下の成果を期待することができます。
- ・体育授業における児童・生徒の多様な運動への向き合い方の提示
- ⇒エコロジカル・アプローチは、「できる」を身体能力と環境の相互作用として捉えるため、環境を変えることによって「できない」が「できる」へと変化します。例えば、走り高跳びで1mを跳ぶことができなくても、踏切り位置にロイター板を置く（環境を変える）ことで、1mを跳べるようになるかもしれません。このように、エコロジカル・アプローチを体育授業へ応用することは、児童・生徒が自分の身体能力を高めることに加え、環境を変えることによる「できる」を理解し、多様な運動への向き合い方を育むことが可能になります。

お問合せ先



国立大学法人
愛知教育大学
AICHI UNIVERSITY OF EDUCATION

財務・学術部 学術研究支援課 研究支援係
TEL : 0566-26-2417
E-mail : renkei@m.auecc.aichi-edu.ac.jp

